

学校(園)生活支援シート (個別の教育支援計画)

平成30年度作成

このシートは、お子さんの学校(園)生活を充実したものにするため、御家族と学校、関係する様々な立場の人が、お子さんをどのように支えていくか話し合い、記録していくものです。
お子さんが、充実した豊かな学校生活を送ることができるよう、学校での学習や家庭での生活について、一緒に考えていきましょう。

フリガナ	チヨダ タロウ	性別	学年・組
氏名	千代田 太郎	男	さくら組(〇歳児)
学校	実態として、学校や関係機関が知っておいた方がよいことを記入しておきます。(診断名、特徴、手帳取得状況等)	園)長名	千代田 一郎
		任名	千代田 花子
備考	したいことを止めると大声で泣き出してしまう。「こだわり」なのか「わがまま」なのか判断に迷うところがある。		

1 学校(園)生活への期待や成長への願い (こんな学校生活がしたい、こんな子供(大人)に育ててほしい、など)	
本人から	園生活を楽しみたい。絵本や三輪車が好き。
保護者から	集団の生活の中で、自分の思いと違うことが受け入れられるようになってほしい。

現在に限らず、将来に向けての希望等を記入しておく、どんな力を育てていくとよいか、見通しをもつことができます。

2 現在のお子さんの様子 (得意なこと・頑張っていること、不安なことなど)	
(家庭から)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭では絵本を読むことが多い。 日常の流れは理解しているが、次の予定への切り替えができないこと 自分の気持ちを言葉で伝えることはまだ難しい。
(学校(園)から)	<ul style="list-style-type: none"> 園では三輪車に乗って楽しむことが多い。 日課表を掲示しておくで自分で確認している姿が見られる。

何ができるのか、今頑張っていること、不安なことに対して現在行っている支援等を記入しておく、支援の目標を立てやすくなります。

3 支援の目標	
<ul style="list-style-type: none"> 好きなことを楽しめる時間をつくる。 次の予定など、事前に分かっていることは、絵カードなどを提示して 自分の気持ちを表現できる場面を少しずつ増やしていく。 	
学校(園)の指導()	家庭の支援
<ul style="list-style-type: none"> 遊びの時間に興味のあるものを葉をかけて、遊びの幅を広げてい 1日の予定について視覚的に提示する。 今、やっていることの終わり(〇〇まで)を示すことで、次の行動への切り替えを促す。 絵カードや言葉で気持ちを表現できるよう、ゆっくり話を聞くようにする。また、伝え方を教える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校と相談し、1年間の目標を決めます。お子さんのスキルアップだけでなく、状態に応じた支援について共通理解を図ります。 させて、その中で「できたね」など言葉をたくさんかける。 トライした様子があったらゆっくり休ませる。 行動を切り替えたいときは今やっていることの終わりを示す。 療育機関を利用し、日ごろの様子について相談する。

学校(園)と家庭でよく話し合い、お子さんの様子を見ながら、それぞれで可能な支援、また、それぞれでしかできない支援を考えていきましょう。

4 支援機関の支援			
在籍校	29年度 さくら組 (〇歳児) 30年度 年 組 年度 年 組	担任名：千代田 花子 担任名： 担任名：	
医療機関	支援機関： 〇〇病院 支援内容： 主治医、定期通院 支援期間： ()~()	担当者：〇〇 〇〇	連絡先：03-3300-〇〇〇〇
療育機関	支援機関： 〇〇キッズ 支援内容： 発達支援、在籍園訪問 支援期間： (平成29年4月)~()	担当者：〇〇 〇〇	連絡先：
放課後機関	支援機関： 支援内容： 支援期間： ()~()	担当者：	
	支援機関： 支援内容： 支援期間： ()~()	担当者：	

適切な支援を行うにあたっては、関係機関（保健、医療、福祉、教育、労働等）との連携が大切です。支援の内容についても相談していけるとよいでしょう。ここに書かれた支援機関と学校（園）が連携します。

5 支援会議の記録		
日時 平成29年5月15日 15:00~16:00	参加者： 学級担任、母	協議内容・引継事項等 家庭訪問にて今後の支援について、学校（園）生活支援シートの内容をもとに確認を行った。
日時 平成29年7月21日 8:45~10:00	参加者： 学級担任、コーディネーター、母、本人、療育機関担当者	協議内容・引継事項等 支援機関での本人の様子や家庭の様子から、今後の支援の改善のための協議を行った。
日時 平成 年 月 日 : ~ :	参加者	協議内容・引継事項等
日時 平成 年 月 日 : ~ :	参加者	
日時 平成 年 月 日 : ~ :	参加者	協議内容・引継事項等

会議を開く都度、記録していきましょう。通院等で特記すべき事項があった場合も書いておくとよいです。

家庭と学校で1年間の成長の様子を話し合います。次年度に向けて、具体的な姿から、関わりの中で気づいたこと等を、進級、進学先へ引継ぎましょう。

6 成長の様子
(家庭から) 今までよりも落ち着いて過ごすことができるようになりました。
(学校から) 好きな遊びも「ここまでだよ」と見て分かるように提示することで自分からやめることができるようになりました。本人からも「できたね」と大人へのかかわりがあり、喜ぶ姿がたくさん見られるようになりました。
7 来年度への引継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・耳よりも目から入る情報に頼ることが多いので、 ・特定の人とのかかわりの中で気持ちを表現するを聞いてあげられるとよいです。 ・褒められる経験も増え、ちょっと難しいかなと思体験に結びつけてあげられるようにすると、さら

関係機関、進学先へ引き継ぎます。内容について確認し、サインをお願いします。ご家庭にも写しをお渡しますので、関係機関へお持ちいただく学校（園）での支援について知ることができ、より適切な支援につながります。年度初めは、1年間の支援内容について、年度終わりに項目6、7を書いて引継ぎについて改めて確認します。

以上の内容について了解し確認しました。

平成30年5月31日 保護者氏名 千代田 花江